

TMG あさか医療センター広報誌

ご自由にお持ち下さい

Take Free

病院と患者さま・家族をつなぐ

# かけはし

2024. 10

Vol.14

Autumn

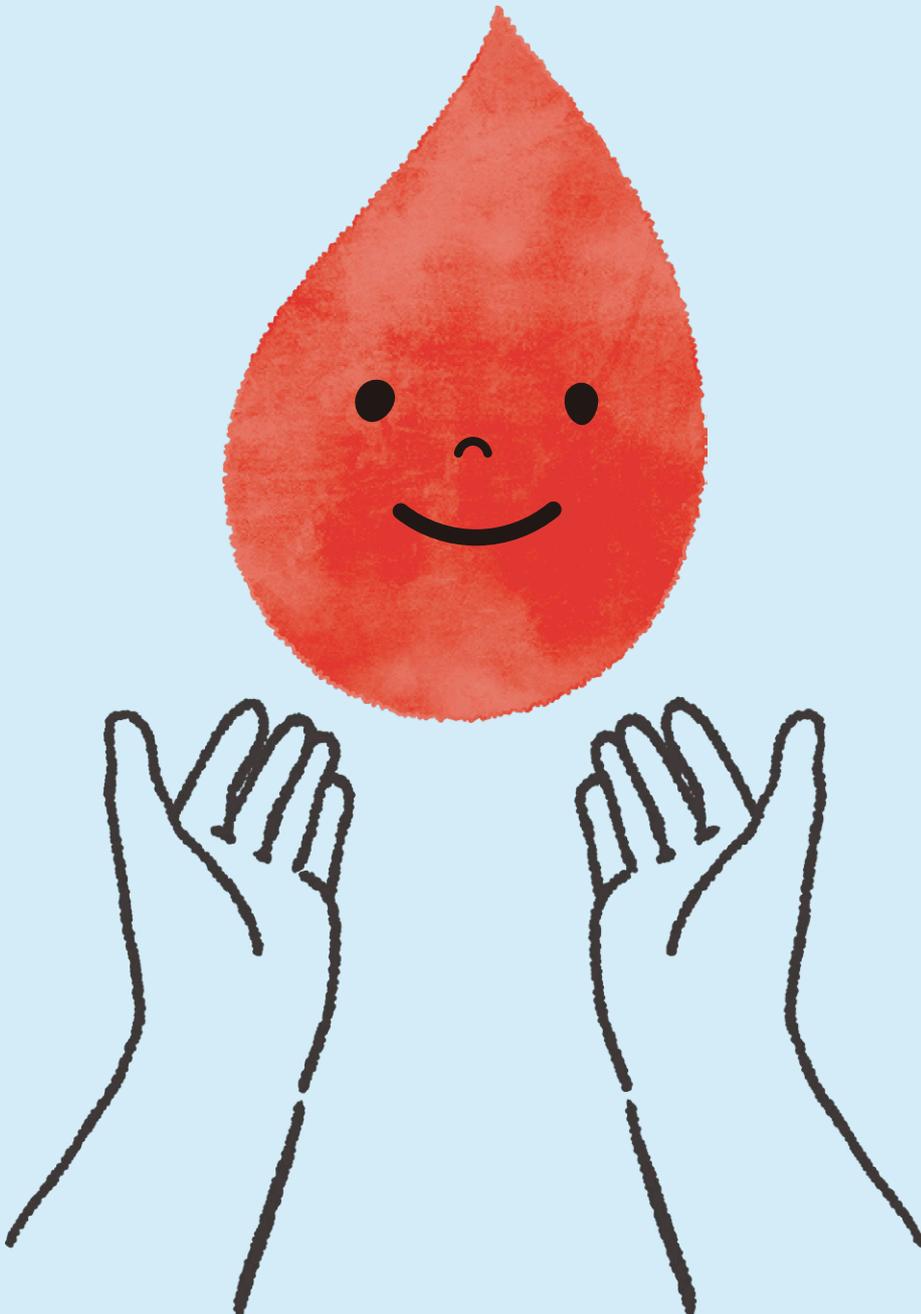
特集

ドクターズインタビュー「白血病」

PICK UP 施設課

「ご意見箱より「みなさまの声」

連携医療機関：上野胃腸科



## 血液内科 特集 白血病

血液専門医が4名在籍。豊富な経験と知識で、「先を見据えた」最適な治療にあたります。



血液内科部長 渡邊 純一 医師

TMGあさか医療センター血液内科ホームページ  
<https://www.asakadai-hp.jp/department/hematology/>



TMGあさか医療センターホームページ内  
あさかの医療「血液内科」特集ページ  
<https://www.asakadai-hp.jp/topic240606/>



### 当院の血液内科とはどのような診療科ですか？

2020年8月に血液内科を立ち上げ、現在、血液専門医4名体制で診療を行っています。8床の無菌室と4台のアイソレーター(簡易無菌装置)を備えた日本血液学会認定専門研修施設の1つです。

血液内科は、主に以下のような疾患を扱っています。

- **造血器悪性腫瘍**: 急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など
- **血液難病**: 再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、後天性血友病など

急性白血病のように進行が早く、緊急性の高い疾患が多いため、入院対応が必要な患者さんが多いことが特徴です。

### 「急性白血病」とはどんな病気でどのような症状がありますか？

白血病は“血液のがん”の仲間、進行のスピードと腫瘍の性質から大きく「急性」と「慢性」に分けられ、細胞の起源により「骨髄性」と「リンパ性」に分類されます。

正常な状態では血液のおおもとである造血幹細胞は、本来白血球や赤血球、血小板といった血液細胞に変化していきます(分化と呼ばれます)。急性白血病は未熟な血液細胞ががん化して白血病細胞になり、無秩序に増殖し正常な血液(血球)が作られなくなる疾患です。正常な白血球が作れなくなると易感染状態<sup>\*1</sup>になります。

血球の機能が失われることでの症状(貧血・感染・出血など)と白血病細胞が増殖することによる症状(発熱・臓器の腫れや痛み・寝汗・体重減少など)が出ることがあります。

\*1 免疫機能が低下し、感染が起こりやすい状態

### 見つけ方・初期症状などはありますか？

急性白血病は進行が早いことから健康診断などで見つかることは少なく、発熱が持続したり、出血を繰り返したり

など、血球減少による症状があり近くの病院を受診し、急性白血病が疑われることが多いです。骨髄異形成症候群から急性骨髄性白血病(AML)へ進行した場合などでは貧血で発覚する患者さんもいます。

### 主な検査や治療はどのようなものですか？

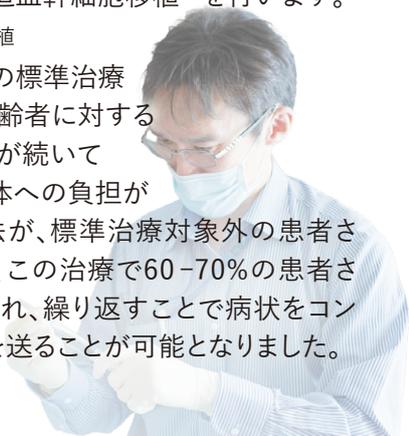
通常は血液検査を行い、白血病の疑いが見つければ骨髄検査へと進みます。骨髄検査では、白血病細胞が「骨髄性」か「リンパ性」かの確認や、染色体や遺伝子などの検査も行います。遺伝子検査の結果で特効薬があるものは、治療成績がかなり改善しています。

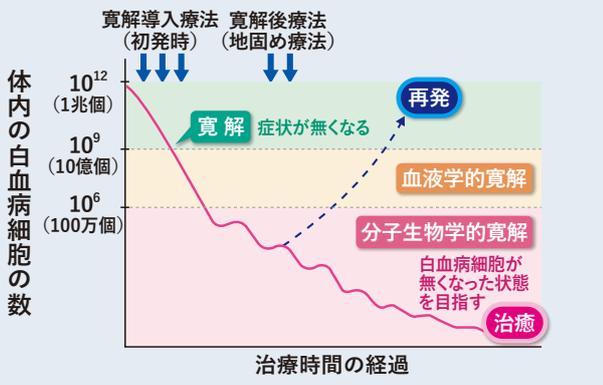
治療の基本は抗がん剤を使用した薬物療法です。血液中にがん細胞が存在するため、手術や放射線などの治療は困難ですが、固形癌(大腸癌や乳癌など)に比べ、抗がん剤が効きやすいです。

急性白血病の治療は白血病細胞を減らし正常な造血を回復させるために「寛解導入療法」という抗がん剤治療を開始し、残っている白血病細胞をさらに減らすため「地固め療法」といわれる駄目押しの治療を繰り返して治癒を目指します。それぞれの白血病は遺伝子やその治療反応(白血病細胞の減り方)などで「完治する可能性」を見積り、完治の可能性が低い場合は、同種造血幹細胞移植<sup>\*2</sup>を行います。

\*2 兄弟やバンクドナーなどからの移植

以前、急性骨髄性白血病の標準治療は65歳までとされており、高齢者に対する積極的な治療は難しい時代が続いていました。しかし、2021年に体への負担が少ない新しい薬の併用療法が、標準治療対象外の患者さんに対して保険適用となり、この治療で60-70%の患者さんにある程度の改善が得られ、繰り返すことで病状をコントロールしながら日常生活を送ることが可能となりました。





## 治療件数について教えてください

2023年度、血液内科では入院332名、新規外来278名の診療を行いました。外来診療(外来化学療法・経過観察)では、およそ700名の血液疾患の患者さんの治療を行い、点滴の抗がん剤治療の件数は、外来で1,053件、入院では1,125件に上ります。内服薬の抗がん剤だけの患者さんも含めると、実際の件数はさらに増加します。

※詳細はホームページの「血液内科/治療実績」をご覧ください。

## アピールポイントを教えてください

### 1) 患者さんに合わせた根拠のある治療を提供

血液専門医が4名在籍している病院は県内でも少なく、特に高齢者や他の病院で対応が難しい患者さんを積極的に受け入れる体制を整えています。

### 2) 強力なりハビリテーション部

抗がん剤治療では体力や日常生活動作(ADL)の低下が懸念され、多くの病院で、体力・ADLの維持を目標とする中、当院では強力なりハビリ部との連携により、落ちた体力やADLを向上させながら治療を継続できる先駆的な取り組みにより、患者さんの生活の質の向上を目指しています。

### 3) 様々な病院との連携でスムーズな対応が可能

私の母校である防衛医大をはじめ、県内外の有名病院との緊密な連携を築き、他院での治療が必要な場合でもスムーズに対応できる医療体制を整えています。

### 4) 質の高い医療を提供するために

私自身、医師や看護師向けの教科書を執筆し、血液内科に関する7冊の単著を刊行しています。医療従事者が最新の知識を習得できるよう支援し、患者さんに質の高い医療を提供することに取り組んでおります。

## 渡邊部長について少しお話を聞かせてください TMG あさか医療センターとの出会いは?

2004年に防衛医大を卒業後、専門医や博士号を取得し、2018年4月から埼玉医大総合医療センターで勤務していました。当時、医師不足が深刻な埼玉県南西部に血液内科の病院を立ち上げることで、防衛医大や埼玉医大の負担の軽減と医療過疎地域の患者さんに貢献できると考えTMGあさか医療センターに異動してきました。

※詳細はホームページ「あさかの医療/血液内科」をご覧ください。

## 医師として心掛けていることは何ですか?

血液内科は悪性疾患の対応が多く、白血病のような病名を告知されると、患者さんやご家族はショックと同時に先の

見えない不安を伴うと思います。患者さんに寄り添うと言えは簡単かもしれませんが、私はできる限り「患者さんが先を考えられる医療」を提供したいと思っています。病気だけでなく、経過など予測できる範囲を丁寧に説明し、「先の見えない不安」を取り除くことが重要であると考えています。

## 医師としてやりがいを感じるのはどんな時ですか?

血液内科は抗がん剤治療を中心とした難しい治療を行う診療科です。急性白血病の治療・悪性リンパ腫の治療・骨髄腫の治療など、それぞれ初期は状態がかなり悪いところから「寛解・治癒」を目標に強力な抗がん剤治療を行います。固形癌では抗がん剤はあくまでサポートですが、血液内科では「治す」ための治療であり、状態が悪くても治しにくくためには難しい橋を渡る必要があります。

その状態から患者さんが回復した時「一つ目の難所を超えた」という達成感を感じられ、また患者さんやご家族から感謝の言葉をいただいた時は嬉しく、やりがいを感じます。

## これからの目標を教えてください

当初、5年計画で現在の規模を考えておりましたが、3年で達成し、民間病院では埼玉県初の日本血液学会認定専門研修施設となりました。

今後は治療の幅を広げる為、細胞保存を行う輸血部などの施設の整備を進めていきたいです。これにより同種移植や免疫細胞療法といった、大学病院と同様の治療が可能となります。

そして「医局を超えた横の連携を取れる病院」を作ることです。当科は大学病院と連携していますが、独立運用している血液内科です。病院それぞれに「様々な治療法・管理法」があることを当然として、その違いを認識し、より良い方法を追求し続ける病院を作り上げられたらと思っています。

将来的には、規模をさらに拡充し医療従事者、患者さんからも選ばれる、日本でも有名な血液内科のある病院にできればと思っています。



## 渡邊医師からメッセージ

### ◆ 患者さまへ

血液疾患は多くの疾患が重篤なため、患者さんやご家族に不安も多いかと存じます。当科では主治医を窓口血液内科医がチームで対応しております(主治医-チーム制)。これは説明する医師の違いで、患者さんやご家族の受ける印象が変わることがないように、患者さんやご家族に主に対応する主治医を決めております。血液内科全体で患者さんの診療をおこなっておりますが、不安などがございましたら主治医にまずご相談いただければと存じます。当院で実施できない治療については連携先と協力の上、対応していきますので、いつでもご相談ください。

### ◆ 地域の先生方へ

基本的に血液疾患は緊急性が高い疾患が多く、対応できる病院も限られているかと思えます。ご連絡いただきましたら、ベッド数を確認し調整がつき次第、すぐに緊急性が高い患者様の受入も可能です。当院で対応できない場合は血液内科のネットワークを駆使し、転院先を調整いたします。何かございましたら、いつでもご相談いただければと存じます。



支える人たち

部署紹介リレー 04

## 施設課

病院のサポート役に全力を注ぐ  
緑の下の力持ち!



## 病院を支える「緑の下の力持ち」

患者さまに安心と快適を提供するために尽力し、病院全体の円滑な運営を支えています!

施設課は、患者様が安心して受診や入院生活を送れるように、病院設備の保守管理を担当する専門性豊かな8名のチームです。病院の電気・空調・水道・建物から医療ガスや消防設備まで、法令で定められた点検業務や修理保全を担当し、環境に配慮した省エネルギー活動にも力を入れています。また、院内外の環境整備を行い、地震や火災などの災害に強い病院を目指し、各設備の点検作業を実施しています!



### 様々な資格を有するエキスパートチーム!

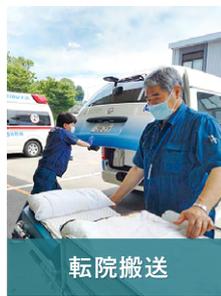
- 第一種電気工事士
- 二級ボイラー技士免許
- アーク溶接
- ガス溶接
- 大型自動車第二種免許
- フォークリフト免許
- 監理技術者資格者 (電気・電気通信工事)
- 一級電気工事施工管理技士
- 乙種危険物取扱者

### 主な業務内容

- 備品の修理、備品の作成
- 建物・設備の保守、維持管理
- 車両管理 (整備調整・タイヤ交換) 緊急車両の運転
- 院内、院外周辺的环境整備



除草作業



転院搬送



液体酸素の点検



フィルター清掃

TMG あさか医療センター 管理栄養士監修

## あさか健康キッチン

## 鮭ときのこのグラタン



旬の食材「鮭ときのこ」を使ったグラタンのレシピをご紹介します!

鮭ときのこにはカルシウムの吸収を促進するビタミンDが含まれており、牛乳やチーズと一緒に食べると効率よくカルシウムを摂取できます。また、きのこには食物繊維が多く含まれ、余分な糖や脂質の吸収を抑えたり、お通じを改善したりする効果があります。旬の食材を食べて健康に過ごしましょう!



材料 (3人分) ※写真は1人分です。

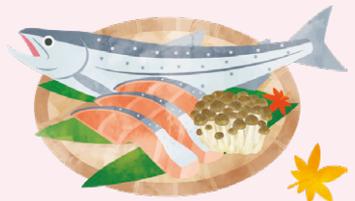
- 生鮭… 2切 (200g)
- バター……………20g
- 塩…………… 小さじ 1/3
- しめじ…………… 100g
- 小麦粉…………… 大さじ 3
- こしょう…………… 少々
- 玉ねぎ…………… 1/2 個
- 牛乳…………… 300 cc
- ピザ用チーズ…………… 50g
- マカロニ…………… 50g
- 水…………… 100 cc

### つくり方

- ① 生鮭は一口大に切り、塩コショウ少々(分量外)で下味をつける。
- ② しめじは石づきをとって小房にほぐしておく。玉ねぎは繊維に沿って薄切りにする。
- ③ フライパンでバターを熱し、生鮭を焼き目が付くまで焼く。
- ④ 玉ねぎとしめじを加え、しんなりするまで炒めたら、さらに小麦粉を加え、粉っぽさが無くなるまで炒める。
- ⑤ 牛乳、水、マカロニ、塩、コショウを加え、中火で加熱する。  
※牛乳と水は、ホワイトソースがダマにならないよう混ぜながらゆっくり加える。
- ⑥ 沸騰してきたら弱火にし、マカロニに表記されている茹で時間加熱する(9分程度)。  
マカロニが柔らかくなったら火を止める。
- ⑦ グラタン皿に移し、ピザ用チーズをかける。
- ⑧ オーブントースターで5分程度、チーズに焦げ目がつくまで焼いたら完成。

### 栄養価 (1人あたり)

エネルギー: 382kcal たんぱく質: 26.3g 脂質: 16.9g 炭水化物: 30.1g 食物繊維: 2.9g 食塩相当量: 1.6g



転倒にご用心!

てんとう  
10月10日は

転倒予防の日



健康寿命を短くする要因の一つが、「**転倒による骨折**」です。  
つまずき・滑り・踏み外しなど足元のトラブルをきっかけに  
「**転倒→骨折→寝たきり（要介護）**」へとつながります。  
無理のない適度な運動を続け、体の機能の低下を防ぎましょう!

監修 リハビリテーション部  
作業療法士 北村 啓太



食器を洗いながら...

### アキレス腱伸ばし体操



- ① 姿勢はまっすぐ
- ② 左膝はシンク台にくっ付ける
- ③ 右足を半歩後ろに出し、足の裏を床につける

歯磨きしながら...

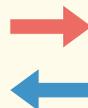
### 横歩き体操



- ① 姿勢はまっすぐ



- ② 右足を半歩横に出す



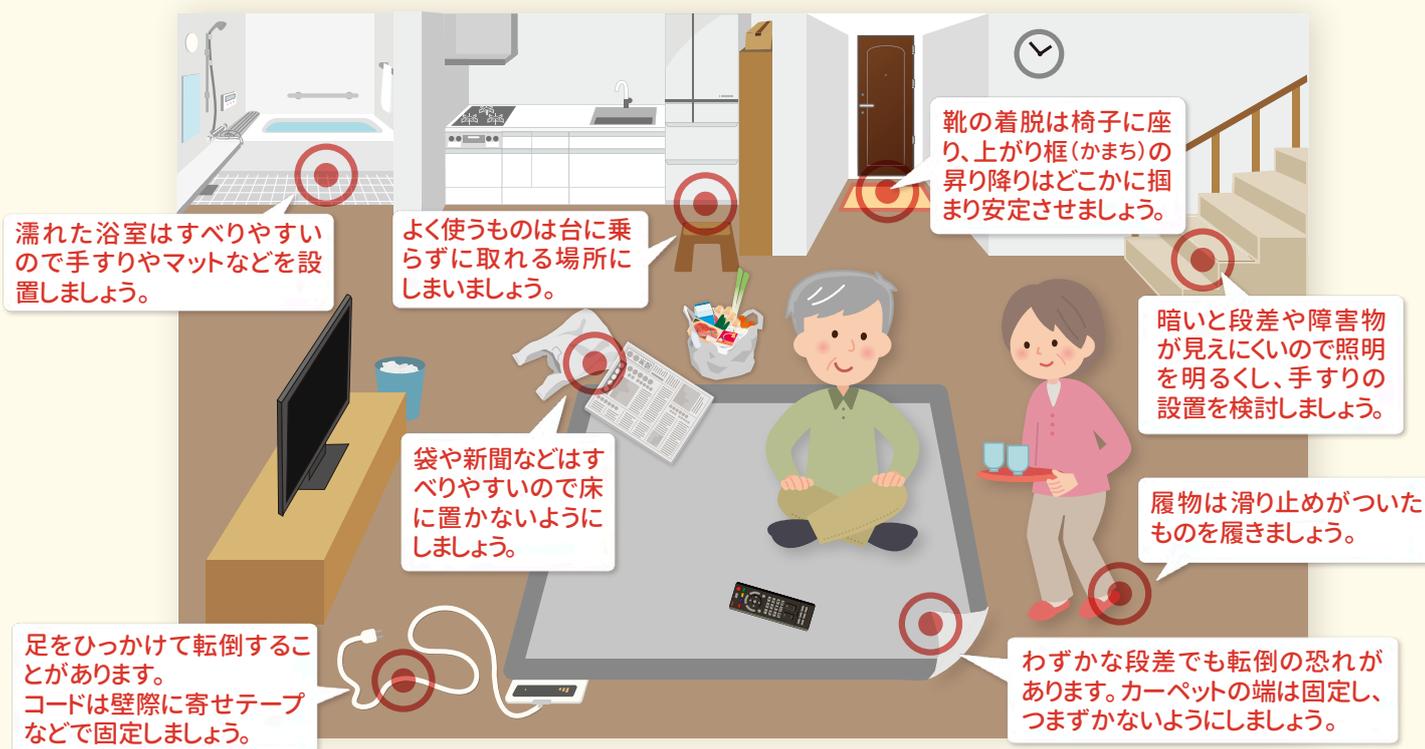
- ③ 左足を右足に揃える  
※ 反対方向も同様に行いましょう



自宅だから安全とは限りません。転倒の原因は自宅の身近な場所にあります。高齢者の事故の70%以上は自宅内で発生しており、日常生活の事故で救急搬送の約8割は**転倒事故**によるものです。

参照：内閣府／平成30年版高齢社会白書／65歳以上の者の家庭内事故 参照：東京消防庁／救急搬送データからみる高齢者の事故

### 家の中の危険な場所





きらっ

# 病院で活躍中の と輝く あさかスター をご紹介

TMG グループには、お互いの良い点を言葉にして贈り合う「いいねカード」があります。今回は「いいねカード」を贈る数が常に上位で、院内の士気を高めている診療放射線部の並木係長にお話を伺いました。

## Q1 診療放射線技師を選んだきっかけ、TMG グループ入職の理由は何ですか？

学生時代から医療に興味をもっていたなかで担任から診療放射線技師を教えていただき、検査を行うだけでなく放射線を利用し治療を行うこの仕事に興味を持ちました。X線撮影やCTなどのさまざまなモダリティを経験し、幅広い業務を行えるようになりたいと考えていた時、幾つもの病院がグループとして大きな役割を果たしているTMGを知り、理想の職場に近いと感じ就職を希望しました。

## Q2 仕事内容について教えてください

放射線技師は、患者さまのけがや病気の診断に役立てる画像を撮影し医師に提供します。機械を操作する印象が強いかもしれませんが、患者さんにとって最適な方法を探りながら撮影を行うため、撮った人の力量が表れます。より良い画像を撮影するためのスキルアップや経験が欠かせないと感じています。

また放射線の取り扱いには特別な注意が必要です。日本では医師と歯科医師以外で人体に放射線を照射することが認められているのは診療放射線技師のみで国家資格が必要となっています。近年、医療における放射線の被ばく量が関心を集めており、適正な管理と使用が重要な仕事となっています。

## Q4 部署はどんな雰囲気ですか？

年齢層が若く非常に活気のある明るい職場だと思います！職場では「いいねカード」というお互いの良いところを感謝し合う文化があり、良い行動を見つけたら率先して送ることを心掛けています。昨年度、当部署が最多いいね部署となり、自分たちの行いを褒められると嬉しく、またやる気に繋がっています！

## Q5 仕事のやりがいは何ですか？

撮影が終わった後、患者さまから「次に検査を受ける際には指名したい」との温かいお言葉をいただき、大変嬉しく思いました。また、自分の後輩たちがさまざまな業務を習得し、成長していく姿を見ることにやりがいを感じています。コロナの影響もあり、以前ほど頻繁には行けませんが、お酒を飲みながら楽しく会話することが好きなので、仕事の後に職場の同僚や友人と出かけることが良いリフレッシュになっています。

## Q6 心に残るエピソードなどはありますか？

健診で行っている胃のバリウム検査で早期の病変を見つけた際に、患者さまから感謝の手紙をもらった事がとても嬉しく心に残っており、今でもその手紙を大切に保管しています。

## Q7 今後の目標を教えてください

TMG 全体の若手がより成長出来るような職場環境作りを目指して行っていきたいと考えています！それによりTMG全体の医療の質を高め、近隣住民の方々へより良い医療を提供していきます。

## Q3 仕事で心掛けていることは何ですか？

放射線は目にも見えず、匂いもありません。使い方ひとつで「診療」にも「被ばく」にも繋がります。だからこそ、取り扱うことのできる人は限られており、私たち医療従事者が正しく理解し、患者さまの被ばくを減らし安心して検査や治療を受けていただけるよう努めています。

また患者さんは健康な方ばかりではなく、立てない方、痛みにより体勢を保つことが難しい方もいらっしゃいます。検査を受ける方のできるだけ負担、痛みの少ない撮影体位でかつ有益な画像情報が得られるように心掛けています。

**病** 気の診断や治療に欠かせない  
放射線を専門に扱うスペシャリスト！





## 各課で改善に取り組んでいます！ ご意見箱のお返事

TMGあさか医療センターではみなさまからのご意見やご要望を大切にしています。  
1階受付前に設置の「ご意見箱」よりお寄せ頂いたご意見についてご紹介いたします。

### みなさまからの声

障害者用のトイレに荷物置き場がない。  
荷物が多いと置き場がなく不便なので、荷物を置くスペースがあると助かります。また、ひとりでトイレを使用している方を見かけるが、手助けが必要な時どうしたらよいか分からず困るのではないかな。

外来フロアの身体障害者用トイレ全てに、荷物置き場を設けさせていただきました。

また、「お困りの際はお近くのスタッフへお声がけください」のご案内を、全ての障害者用トイレのドアに添付致しました。  
手助けが必要な場合は、お気軽にお近くの職員へお声がけ下さい。



### みなさまからの声

外来のクリアファイルが綺麗になり快適になりました。以前より受付番号やスケジュールが見やすくなったので良いと思います。



ありがとうございます。また、長い間ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。今後も定期的に古くなったファイルを更新してまいります。

### みなさまからの声

1階食事スペース前、窓の外の雑草が多い。食事をする場所から見える部分で、少しでも綺麗な方が良いと思う。整備してはどうか。

コンシェルジュと施設課職員で、植木の剪定や草むしりなど整備を行いました。今後も、敷地内や院内の環境等に対し、何かお気づきの点がございましたら職員へお声がけください。患者さまが過ごしやすい病院になるよう、可能な限り環境整備をして参ります。



いただきました貴重なご意見をもとに、患者さまの立場にたった心温かい医療サービスの向上を心がけ、さらなる病院運営の改善に努めてまいります。みなさまからのご意見・ご感想などを心からお待ちしております。



# 当院では身近な「かかりつけ医」を持つことを勧めています

TMG あさか医療センターは救急医療・高度な検査や入院治療を提供できる地域の基幹病院としての役割を担っています。地域の開業医の先生方と連携・協力し、医療機関の役割分担をしながら、地域のみなさまが安心して円滑に診療を受けていただけるようお手伝いをしています。このコーナーでは、当院の登録医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。



## 医療機関のご紹介



連携登録

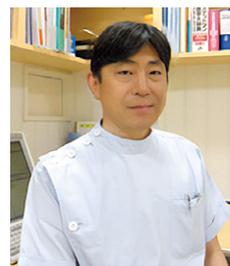
### 上野胃腸科

地域医療のパートナー

院長：滝澤 義和 先生  
診療科目：消化器内科、内科、外科、放射線科、皮膚科  
住所：〒351-0006 埼玉県朝霞市仲町1-2-31  
電話番号：048-461-6565  
アクセス：東武東上線「朝霞駅」東口より徒歩2分  
休診日：日曜・祝日

### 地域に根差した家庭医として

当院は昭和40年1月の開設であり、平成11年より滝澤義和が2代目の院長に就任、同29年より松村聡が副院長に就任し、現在の常勤2名体制となっております。東武東上線朝霞駅東口徒歩2分に位置し、併設されているあさかクリニックモールには、すぎたこどもクリニック、さない耳鼻科クリニック、なおあきクリニック（腎・泌尿器科）が診療しています。当院は、高度な専門性や医療機器を持つ医療機関というよりは、健康の事をなんでも相談できる「かかりつけ医」を目指しています。院長の最大関心事は予防医療であり、生活習慣病全般の診療や健康診断、がん検診事業等に力を入れ、取り組んでおります。その他のキーワードとしては、内視鏡、時間予約制、禁煙外来等でしょうか。地域住民の皆様から先ずは相談を受け、必要であれば遅滞なくTMGあさか医療センターさんの様な頼れる病院へと連携する「かけはし」の役割をしっかりと担うべく日々診療しております。



院長 滝澤 義和 先生



副院長 松村 聡 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	★
15:00～18:00	○	○	○	○	○	★

★土曜日は9:00～15:00



上野胃腸科  
ホームページ QR

### かかりつけ医とは？

病気やケガをした時すぐに診てもらえ、あなたのお身体や、ご家族のこと、その他困ったことを気軽に相談できる「身近なお医者さん」です。日頃から健康状態をよく知ってくれているので、病気の早期発見・治療ができ、必要な場合には専門の医師や病院を紹介してもらえます。当院では症状の軽い患者様や長期通院が必要な慢性期の患者様には、地域のかかりつけ医を受診していただくことを推奨しております。地域のみなさまには、取り組みの趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 読者アンケート募集中

「かけはし」では、読者のみなさまの声を生かした広報誌づくりを行うためご意見・ご感想を募集しています。ご意見・ご感想は QR コードを読み取りいただき、アンケートフォームより送信してください。みなさまの「知りたい!」にお応えできるよう、また幅広い方々に愛読されるような広報誌を目指しております。次回は4月発行予定です。

所要時間は  
2分です!



読者アンケート  
QRコード



編集・発行/広報委員会  
発行日/2024年 10月